

Oasa Electronics Co.,Ltd



TA1000
取扱説明書

1. 安全上の注意

1. ご使用の前に

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。

本製品を正しく安全に使いいただくため、使用を開始する前に必ず、この取扱説明書の「安全上の注意」をお読みになり、十分ご理解下さい。使用方法、メンテナンスの説明も、併せてよくお読み下さるようお願い申し上げます。

2. 絵表示の表記について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみ発生が想定される内容を示しています。



この記号は注意(警告を含む)しなければならない内容を示しています。



この記号は禁止(してはいけないこと)を示しています。



この記号は行動を強制したり指示したりする内容を示しています。

3. 異常時の処置について



万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



万一本機を落としたり、カバーを破壊した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

4. 設置について



電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。
コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



本機を設置する場合には、壁から10cm以上の間隔をおいてください。
また放熱をよくするために、他の機器との間は少し放して設置してください。
ラックなどに入れる時には、本機の天面から30cm以上、背面から10cm以上、側面から30cm以上のすき間を開けてください。
また、次のような使い方で使用しないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あおむけや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れなど、風通しの悪い狭い所に押し込む。
- じゅうたんやふとんの上に置く。
- テーブルクロスなどをかける。



付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。
他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。
また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグは、根元まで差し込んでゆるみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。



ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本機の上に重いものや、外枠からはみ出るような大きいものを置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。
- テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、おのの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

5. 使用環境について

⚠ 警告

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
- 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 表示された電源電圧(交流 100 ボルト～ 240 ボルト 50Hz/60Hz)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

6. 使用方法について

⚠ 警告

- 本機の上に水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

- 本機のすき間などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特に子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。
- 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

- 電源スイッチを切っても、電源の供給は停止しません。電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグをコンセントから抜く必要があります。
旅行などで長期間、ご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特に子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。

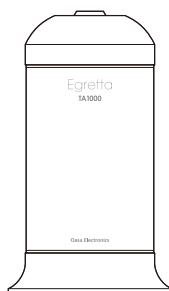
7. 保守点検について

⚠ 注意

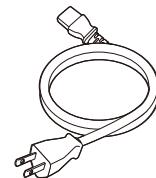
- 5年一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にはこりがたまつたまま、長期間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。
なお掃除費用については販売店などにご相談ください。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

2. 準備する

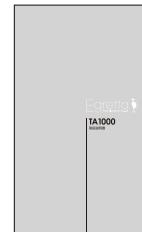
1. 付属品の確認



本体 : 1台



電源コード : 1本



取扱説明書および保証書
(本書) : 1冊

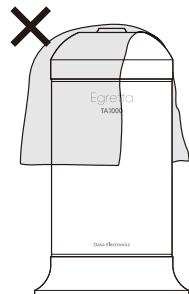
8. その他の注意事項

- 本製品は家庭用オーディオ機器です。下記の注意事項を守ってご使用ください。
- 一般家庭用以外での使用(例:公演会場、大規模店舗などにおけるコンサートやライブ等の用途を目的とした長時間使用、車両、船舶への搭載、屋外での使用など)はしないでください。
 - 音楽信号の再生を目的として設計されていますので、測定器の信号(連続波)などの増幅用には使用しないでください。
 - ハウリングで製品が故障する恐れがありますので、マイクロфонを接続する場合はマイクロфонをスピーカーに向けたり、音が歪むような大音量では使用しないで下さい。
 - スピーカーの許容入力を超えるような大音量で再生しないでください。

音のエチケット

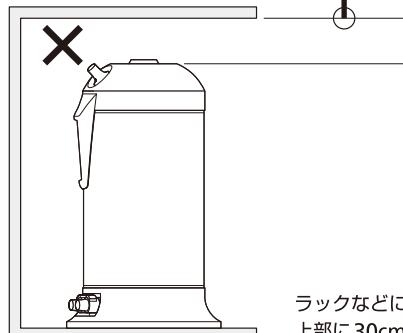
楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間は小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたりするのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

2. 設置について



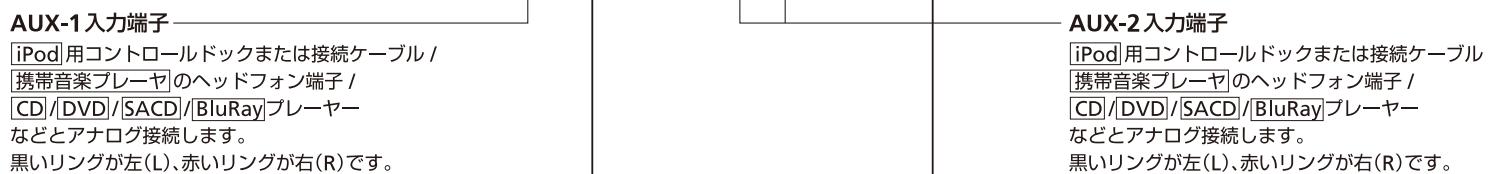
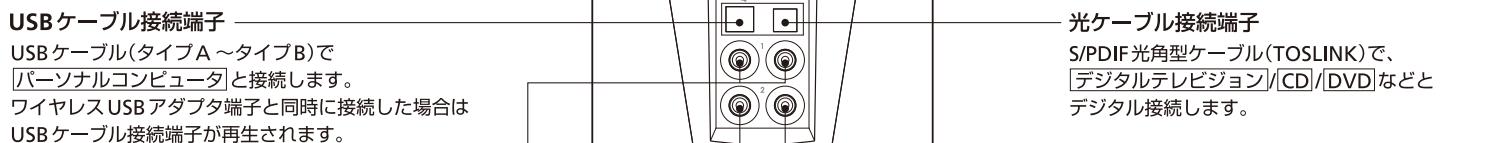
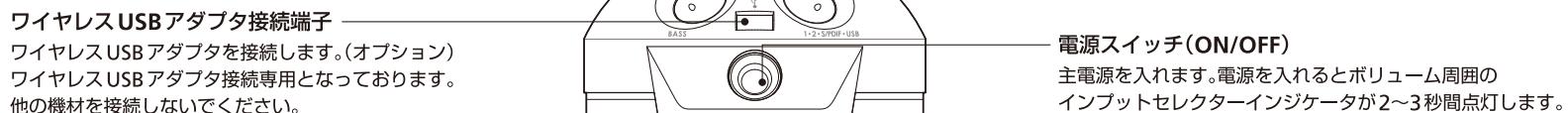
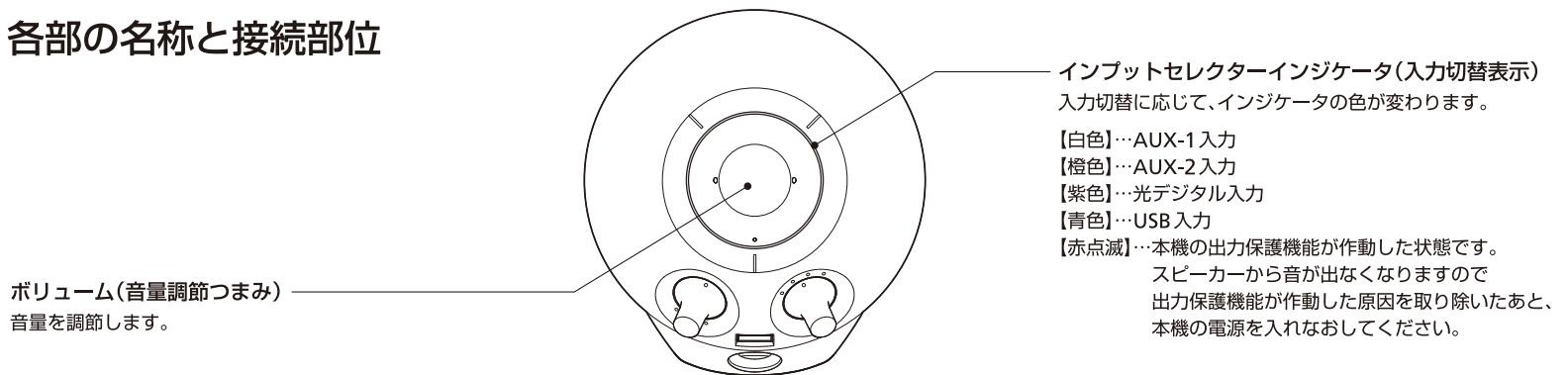
放熱のため、本機の上に布やシートなどを被せた状態でのご使用は絶対におやめください。異常発熱により故障の原因となる場合があります。

30cm以上あける。



ラックなどに設置する場合は、
上部に30cm以上空間をあけてください。

3.各部の名称と接続部位



※iPod・iPhone・iPadは米国および他の国々で登録された
Apple Computer, Inc.の商標です。

4. 接続について

1. 各機器への接続

以下の手順で接続を行って下さい。接続部位は7~8ページを参照ください。

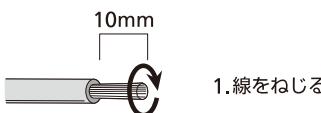
1. 付属の電源コードを本体底部のプラグインソケットに接続します。

2. 外部機器およびスピーカーをアンプに接続します。

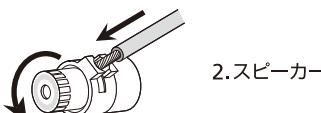
3. 電源スイッチがOFFになっていることを確認してから、
電源コードをコンセントに差し込みます。

! 機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、
必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて下さい。
電源コードは最後に接続して下さい。

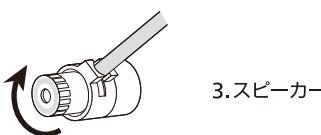
2. スピーカーコードのつなぎかた



1. 線をねじる



2. スピーカー端子を緩め、スピーカーコードを差し込む



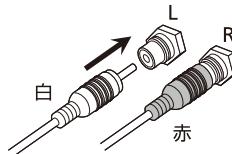
3. スピーカー端子を締め付ける

! 公称インピーダンスが4Ω～16Ωのスピーカーをご使用ください。
極端にインピーダンスの低いスピーカーを接続すると、保護機能が作動して音
が出なくなります。

! スピーカーと本機の+および-端子どうしを正しく接続してください。
(黒い端子がマイナス(-)、赤い端子がプラス(+)です。)

! 端子からコードの芯線がはみ出して、他の芯線と触れないようにしてください。
芯線どうしが触れていると保護機能が作動して音が出なくなります。

3. オーディオコードのつなぎかた



白いプラグはL(左)端子、赤いプラグはR(右)端子につなぎます。必ず奥まで差し込んで下さい。

4. 電源コードのつなぎかた

すべての接続が終了したら、電源コードを家庭用電源コンセントに接続します。

● 旅行などで長期間本機を使用しない場合は、必ず電源スイッチを切るか、または電源プラグをコンセントから抜いておいて下さい。

● 電源コードを抜くときは必ず本体の電源スイッチを切ってからコードを抜いて下さい。

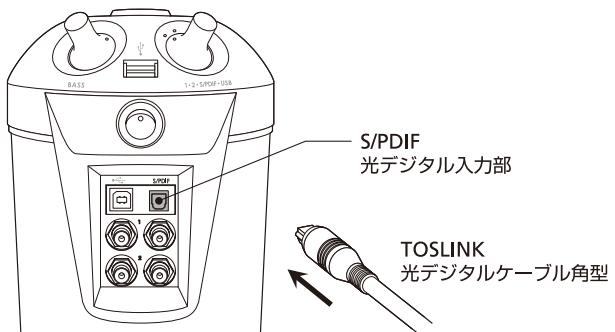
● 停電などで家庭用電源が遮断されてしまった場合、電源復旧時点で本体の電源スイッチがONとなっている場合は、復旧前の入力や音量で復帰します。

! 本機の電源コードは着脱式になっていますが、付属しているコード以外の電源コードはご使用にならないで下さい。

5. デジタル機器のつなぎかた

デジタルテレビなど、光デジタル音声入力端子がある場合S/PDIF光角型ケーブル(TOSLINK)で接続することができます。

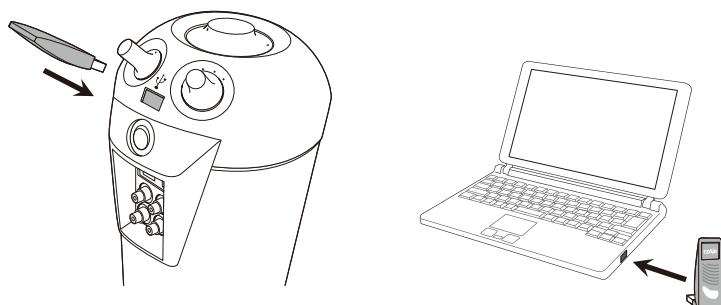
光デジタル音声出力端子には開閉できるフタがついています。デジタル光ケーブルを接続するときは、閉じているフタにそのままプラグを差し込んで下さい。



5.操作のしかた

6.オプション製品のつなぎかた

本機にオプション(別売)のUSBワイヤレスアダプタを使用すると無線でパソコンなどから音楽を転送することができます。



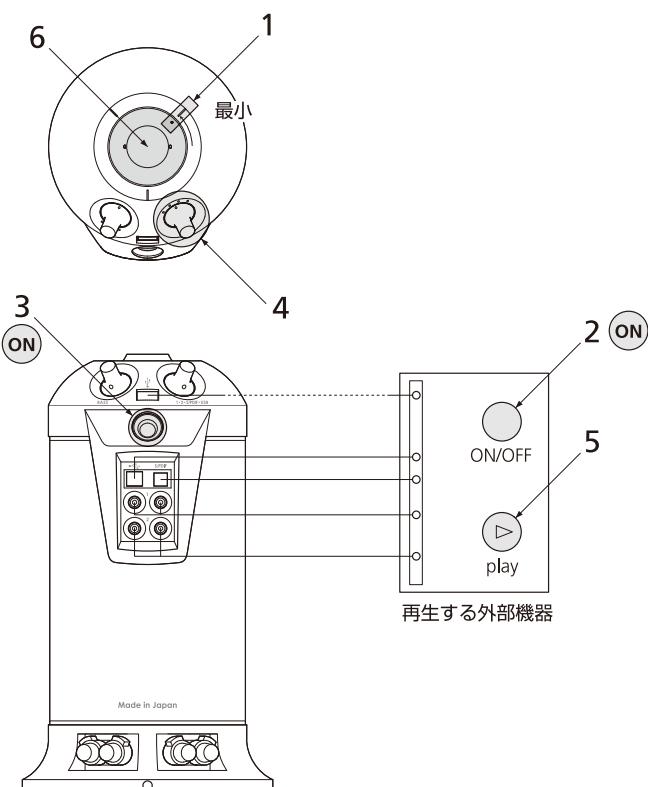
- お持ちのパソコンにUSB/DVIワイヤレスアダプタのインストールCDをセットし、手順に従いワイヤレスUSBマネージャをインストールしてください。
- PCアダプタをパソコンのUSBへ、デバイスアダプタを本機ワイヤレスUSBアダプタ接続端子へ差し込んでください。
- パソコンで再生される音が本機へ転送され、スピーカーで再生することができます。

* USBワイヤレスアダプタの詳しい仕様は別売りのUSB/DVIワイヤレスドックの説明書をご覧ください。
対応OS:Windows 7, Windows Vista, Windows XP

1.再生手順

以下の手順で再生を行って下さい。

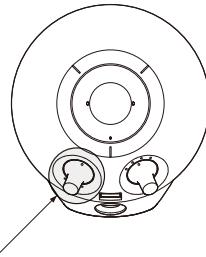
- ボリュームで音量を最小に調整する。
- 再生する機器の電源を入れる。
- 本機の電源を入れる。
※本機の電源を入れた直後、3秒間の無音ミューティングがかかります。
- 本機の電源を入れた直後、本体上部のインプットセレクターインジケーターが2~3秒間点灯(セレクタ選択色にて点灯)します。
- 再生する機器に合わせて、入力を切り換える。
※インプットセレクターを切り換えた時は、1秒間の無音ミューティングがかかります。
- 再生する機器を操作して、再生を始める。
- ボリュームで音量を調整する。



6. 故障かな？と思ったら

2. お好みの音質に調整する(バス・イコライジング・プレゼンス)

本機は、150Hz付近の低音を増強させるための調整をすることができます。バス・イコライジング・プレゼンス(低音音質調整つまみ)でお好みの低音音質を調整してください。



バス・イコライジング・プレゼンス(低音音質調整つまみ)



接続されているスピーカーシステム、または再生する音楽によっては、低音音質を上げすぎると音割れ、歪の原因となります。場合によってはスピーカーシステムを破損する場合もありますので御注意下さい。

故障かな？と思ったらチェックしてみて下さい。

ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用の他の機器および、同時に使用している電気機器もあわせてお調べ下さい。以下の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店・または当社までお問い合わせ下さい。

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？電源プラグを正しく差し込んで下さい。
- 電源プラグが本機底面の電源コード3Pプラグインソケットから抜けていませんか？電源プラグを正しく差し込んで下さい。
- 電源フューズが切れていませんか？本機底面の電源コード3Pプラグインソケット横のフューズボックスを開けて、ヒューズが切れていないか確認して下さい。

音が出ない／雑音が出る

- 接続コードが端子から外れている。または、間違えて接続されていますか？確実に接続して下さい。
- 端子や接続コードのプラグが汚れていますか？端子や接続コードのプラグの汚れを拭きとて下さい。
- 本機のインプットセレクターは再生している機器とありますか？正しく切り換えて下さい。(AUX-1入力、AUX-2入力、光デジタル入力、USB入力)
- 本機のインプットセレクターインジケーターが赤く点滅していますか？スピーカーコードの芯線が他の芯線と触れていたり、長時間大音量の再生を行なうと本機の保護機能が作動します。原因を確認した後、電源スイッチを入れ直して下さい。

片方のスピーカーから音が出ない

- 接続コードやスピーカーコードの片方が外れていますか？確実に接続して下さい。それでも片方のスピーカーから音が出ない場合は、接続コードやスピーカーコードが断線していないか確認して下さい。

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このような時は、電源スイッチを一度切り、再び電源スイッチを入れることで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

また、長年ご使用に際し、下記のような症状が見られましたら、故障や事故防止のためすぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、当社に点検をご依頼ください。

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードに裂け目やひび割れがある。
- 電気が入ったり切れたりする。
- 本体から異常な音、熱、臭いがする。

7. 製品のお手入れについて

円筒「漆喰」部分の汚れは下記を参照して下さい。

●鉛筆や軽い手垢などの部分汚れ

プラスチック消しゴムで落として下さい。

●マジック又はクレヨンなどによる部分汚れ

砂消しゴムで軽くこすって下さい。

●油又は酷い手垢などによる部分汚れ

メラニンスポンジに水を含ませて軽く拭き取った後、直ちに乾いたタオルで水分をふき取って下さい。



メラニンスポンジや砂消しゴムで強くこすると風合いが変わることがあります。



汚れの種類・度合いによっては拭き取ってもシミなどが残る場合があります。



水に濡れたままの状態が続きますと変色する現象が起こり得る可能性があります。



結露や水滴が付着する恐れのある場所での使用はお避け下さい。



油は漆喰内部又は素材内部に染み込む恐れがあります。調理場等での使用はお避け下さい。

8. 仕様

アンプ部

■ 定格出力(両チャンネル駆動)	20W × 20W (歪率0.11 %、15Hz～40KHz、8Ω)
■ 入力端子(感度/インピーダンス/仕様)	AUX-1入力 1.0Vrms / 47KΩ AUX-2入力 1.0Vrms / 47KΩ 光デジタル入力 650nm / -21～-15dBm S/PDIF・JEITA RC-5720B準拠 最大96KHz / 24bit対応 USB入力 USB Full Speed 1.1準拠 USB Audio Class v1.0準拠 最大48KHz / 16bit対応
■ 出力端子 スピーカー出力	左右各1系統 インピーダンス4Ω～16Ω (推奨インピーダンス8Ω)
■ 入出力ゲイン	最大32dB
■ 全高調波歪率	0.11%以下(8Ω負荷・1KHz・10W)
■ クラスD駆動性能	変調周波数 200KHz～300KHz 変調出力・波形 BTL出力方式・3値出力モード 信号変換効率 92%(Typ.)
■ 周波数特性	15Hz～40000Hz(-3dB時)
■ バス・イコライジング・プレゼンス	0～+18dB(fc=150Hz)
■ S/N比(THD+N<1%・1KHz・ゲイン20dB時)	AUX-1/AUX-2入力 94dB以上 光デジタル入力 102dB以上 USB入力 102dB以上
■ クロストーク	82dB以上(8KHz時)
■ 出力保護	加熱保護機能、出力短絡保護機能

電源部

■ 電源	AC100～240V 50Hz/60Hz
■ 消費電力	40W以下(最大出力時)

本体

■ EMI放射ノイズ	測定限界以下(-10dBm)
■ 本体質量	4.0kg以下(付属ACコード込み)
■ 外形寸法	次ページ姿図参照

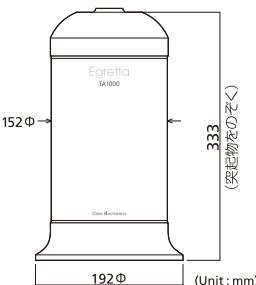
9. 保証とアフターサービス

その他

■ USB 有線接続	下記OSのUSB Audio Class 1.0標準ドライバ対応
	Microsoft Windows XP
	Microsoft Windows Vista
	Microsoft Windows 7 (32bit / 64bit)
	Apple Mac OS X 10.3以上
■ USB 無線接続	オプション品の接続で対応
	Microsoft Windows XP
	Microsoft Windows Vista
	Microsoft Windows 7 (32bit / 64bit)

付属品

電源コード
取扱説明書(保証書)



※特性改善の為に予告なく仕様内容を変更する場合があります。

1. 保証・修理について

- 保証書は取扱説明書と併載しています。内容をよくお読みの上大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げいただいた日より1年間です。
- 保障期間中に正常な使用状態において、万一故障した場合無料で修理いたします。
- 保障期間中の修理など不明な点がありましたら、窓口までお問い合わせ下さい。
- 保障期間経過後の修理については窓口へご相談下さい。修理すれば機能が維持できる場合にはお客様のご要望により有償修理致します。

2. お客様窓口

オオアサ電子株式会社 Egrettaサポートセンター
<http://www.oasa-elec.co.jp>

■受付時間:

平日 10:00 ~ 19:00 / 土日 9:30 ~ 17:30 (臨時休業の場合あり)

■フリーダイヤル: 0120-778-373

■FAX: 0826-82-7066

■住所: 〒731-2104 広島県山県郡北広島町大朝 4767-2

■e-mail: info@egretta.jp

■保証書

■品名	TA1000
■お買い上げ日	年 月 日
■保証期間	お買い上げ日から1年間
■お客様	ご住所: 〒 _____ お名前: TEL:
■販売店	

※個人情報の取り扱いについて

保証書にご記入いただきました個人情報(住所・氏名・電話番号)につきまして、以下の通りに取扱いたします。

利用目的: 記載された個人情報は本製品にかかる業務においてのみ利用します。